



3学期のスタート

校長 村田 奈緒美

新しい年、令和7年がスタートしました。保護者、地域の皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

学校に子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。私たち教職員も気持ちも新たにまとめの学期となる3学期を子どもたちにとって有意義なものにするために取り組んでまいります。

子どもたちには、2学期の終業式、3学期の始業式に3つのことを伝えました。

- 1 挨拶の大切さ
- 2 言葉の大切さ
- 3 他者への思いやり

人とのコミュニケーションの最初は、挨拶です。他者と理解し、助け合うことは日々の学校生活で培われていきます。他者とよりよいつながりをもつためには、言葉が大切です。日本語には、同じ意味を表す言葉がいくつもあります。どの言葉を相手に伝えるかも大切であることを子どもたちに伝えました。言葉の使い方を間違えると、思わぬ誤解を招き人間関係がぎこちなくなります。また、言葉を伝え合わないことで人間関係を損なうこともあります。他者への思いやりをもつことで、使う言葉、挨拶もかわってきます。三宿小では、小規模校の良さを生かして、異年齢による集団活動を様々な教育活動の場面に取り入れてきました。校庭で、複数の学年と一緒に鬼遊びやボール遊びをしています。校庭で低学年が転べば、複数の学年が助けに来る姿が見られます。その姿を目にするたびに、子どもたちの心の成長を感じます。

世田谷区教育委員会から全家庭に向けて、すぐーるで「令和7年度から、土曜授業のあり方を変えていきます」のメールが送られました。土曜授業の運営の仕方は、世田谷区教育委員会の方針に従い来年度の教育課程をつくります。三宿小学校として、教員の負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を増やし、保護者、地域の皆様と協力しながら教育の質の向上に努めてまいります。

2月の保護者会では、令和7年度 of 教育活動の変更点等についてお知らせします。

保護者、地域の皆様3学期も本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



1月

生活
保健
給食

「ありがとう」の気持ちを伝えよう
かぜ・インフルエンザを防ごう
後かたづけをきちんとしよう